

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和6年10月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図2～図4）

16日に気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」が実施した海上からの観測では、9月に引き続き、硫黄岳火口及びグスク火山火口周辺で、白色の噴気を確認しましたが、噴気量に特段の変化は認められませんでした。9月に引き続き、風下側で硫化水素臭を確認しました。また、硫黄岳火口付近の海岸で変色水域が認められました。



図1 硫黄鳥島 硫黄岳火口及びグスク火山火口の位置と図2～図4の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 硫黄鳥島 硫黄岳火口周辺の状況（16日）

- ・気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」が9月に実施した観測に引き続き、硫黄岳火口から白色噴気の放出を確認しました。



図3 硫黄鳥島 グスク火山火口の状況（16日）

- ・気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」が9月に実施した観測に引き続き、グスク火山火口周辺で少量の白色の噴気を確認しました。



図4 硫黄鳥島 変色水域の状況（16日）

- ・硫黄岳火口付近の海岸で変色水域が認められました。